

製品安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	溶菌試薬
製品コード	PR-2050
SDS整理番号	PR2050_JP_1
会社名	倉敷紡績株式会社
住所	〒572-0823 大阪府寝屋川市下木田町14-30 クラボウ先進技術センター2F
担当部門	環境メカトロニクス事業部 バイオメディカル部
電話番号	072-820-3079
FAX番号	072-820-3095
緊急時連絡電話番号	バイオメディカル部 072-820-3079
推奨用途及び使用上の制限	核酸自動分離装置用試薬、研究専用

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	金属腐食性物質	区分1
健康に対する有害性	皮膚腐食性及び刺激性	区分1
	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分1

上記で区分の記載がない危険有害性はガイダンス文書で規定された[分類対象外]または[分類できない]に該当する。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

金属腐食のおそれ
重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
重篤な眼の損傷

注意書き

【安全対策】

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
取扱後は手などよく洗うこと。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

【応急措置】

飲み込んだ場合:口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
皮膚(または髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合:医師の診断／手当てを受けること。
吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は医師に連絡すること。医師の診断／手当てを受けること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

【保管】

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。

その他の危険有害性

情報なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分

混合物

成分名	濃度又は濃度範囲 (wt.%) *	CAS番号	化審法番号
水酸化ナトリウム	0 - 2	1310-73-2	1-410
N-ラウロイルサルコシナトリウム	0 - 1	137-16-6	2-1226

分類に寄与する不純物及び安定化添加物(濃度又は濃度範囲) 情報なし

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 医師の診断／手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断／手当てを受けること。
眼に入った場合	汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合	眼の刺激が続く場合、医師の診断／手当てを受けること。 口をすすぐこと。 ただちに医師の診断／手当てを受けること。 被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。 医師の指示がない場合には、無理に吐かせないこと。
応急措置をする者の保護	救護の際に付着物が目や皮膚にばく露しないように、必要に応じて保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤	周辺設備に適した消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤	利用可能な情報はない
特有の危険有害性	利用可能な情報はない
特有の消火方法	利用可能な情報はない
消火を行う者の保護	消火活動の際は、適切な保護具(耐熱手袋、保護眼鏡、保護マスク、空気式呼吸器、耐熱保護衣等)を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

回収が終わるまで十分な換気を行う。
 換気不十分な場所で漏洩を処理するときは自給式呼吸保護具を着用する。
 適切な保護具を着用する。
 漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。
 不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。
 回収物はラベルを貼って密閉容器に保管する。
 回収物は「13. 廃棄上の注意」の項の記載に準じて処分する。
 物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。
 汚染個所を水で洗い流す。

**環境に対する注意事項
 封じ込め及び浄化方法・機材**

二次災害の防止策

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、適切な保護具を着用すること。 ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 保護手袋、保護衣又は保護面を着用すること。 保護眼鏡/保護面を着用すること。 取扱う時に飲食または喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。
	安全取扱い注意事項	
	衛生対策	
保管	安全な保管条件	換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。 涼しいところに置き、日光から遮断すること。 保管場所には取扱いに必要な採光、照明などの設備、および防爆型の換気の設備を設けること。 金属腐食のおそれがある。金属容器に保管してはならない。 他の容器に移し替えないこと。 耐腐食性/耐腐食性内張りのある容器に保管すること。
	技術的対策	
	避けるべき保管条件 容器包装材料	

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度、管理濃度(職業ばく露限界値、生物学的ばく露指標)

化学名又は一般名	管理濃度	許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
		日本産業衛生学会(1978)	ACGIH(1992)
水酸化ナトリウム	管理濃度データなし	(最大値) 2mg/m ³ (水酸化ナトリウム)	上限値 2mg/m ³ (上気道、眼および皮膚刺激)

設備対策		排気/換気設備を設ける。 洗眼設備を設ける。 手洗い/洗顔設備を設ける。
保護具	呼吸器の保護具 手の保護具 眼の保護具 皮膚及び身体の保護具	換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。 保護手袋を着用する。推奨材質:非浸透性もしくは耐化学品ゴム 側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。 保護衣を着用する。
衛生対策		取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

9. 物理的及び化学的性質

当該化学品および成分の物理化学的性質

物理的状态	形状	液体
	色	無色透明
臭い		無臭
pH		約13.2
融点・凝固点		情報なし
沸点、初留点及び沸騰範囲		情報なし
引火点		適用外(不燃性)
蒸発速度(酢酸ブチル=1)		情報なし
燃焼性(固体、ガス)		情報なし
蒸気圧		情報なし
蒸気密度(空気=1)		情報なし
比重(密度)		情報なし
溶解度		水に対する溶解度: 混和する
n-オクタノール・水分配係数		情報なし
自然発火温度		情報なし
分解温度		情報なし
粘度(粘性率)		情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性および化学的安定性	通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性	情報なし
避けるべき条件	情報なし
混触危険物質	酸
危険有害な分解生成物	情報なし

11. 有害性情報

混合物としての有害性情報

急性毒性	情報なし 労働基準法: 疾病化学物質 水酸化ナトリウム
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	[日本公表根拠データ](水酸化ナトリウム) ブタ/ラビット 重度の壊死 (ACGIH 7th, 2001et al)
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	[日本公表根拠データ](水酸化ナトリウム) ラビット 腐食性 (SIDS, 2009)
感作性	情報なし
生殖細胞変異原性	情報なし
発がん性	情報なし
催奇形性	情報なし
生殖毒性	情報なし
標的臓器毒性(単回ばく露)	情報なし
標的臓器毒性(反復ばく露)	情報なし
吸引性呼吸器有害性	情報なし
その他	情報なし

12. 環境影響情報

混合物としての環境影響情報

水生環境有害性(急性)	[日本公表根拠データ](水酸化ナトリウム) 甲殻類(ネコゼミジンコ属) LC50=40.4mg/L/48hr (SIDS, 2004)	
水生環境有害性(長期間)	情報なし	
生態毒性	魚類	情報なし
	甲殻類	情報なし
	藻類	情報なし
水溶解度	(水酸化ナトリウム) 109 g/100 ml (20 C) (ICSC, 2010)	
残留性/分解性	情報なし	
生体蓄積性	情報なし	
土壌中の移動度	情報なし	
オゾン層への有害性	情報なし	

13. 廃棄上の注意

<p>残余廃棄物</p> <p>汚染容器及び包装</p>	<p>廃棄の際は、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体が 廃棄物処理を行っている場合は、該当する業者に委託して処理を行うこと。 容器は関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること</p>
------------------------------	---

14. 輸送上の注意

国際規則	
陸上輸送	ADR/RIDの規定に従う。
海上輸送	IMOの規定に従う。
航空輸送	ICAO /IATAの規定に従う。
国連分類	Class 8
国連番号	1824
品名(国連輸送名)	水酸化ナトリウム溶液
容器等級	II
指針番号	154
バルク輸送におけるMARPOL 条約附属書II 改訂有害液体 物質及びIBCコード	有害液体物質(Y類) 水酸化ナトリウム
国内規制	
海上規制情報	船舶安全法に従う。
航空規制情報	航空法に従う。
陸上規制情報	消防法に従う。

15. 適用法令

化審法	非該当
労働安全衛生法	非該当
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	非該当
毒物および劇物取締法	非該当
消防法	非該当
航空法	腐食性物質 分類8
危険物船舶運送及び貯蔵規則	引火性液体類(危規則第3条危険物告示別表第1)
水質汚濁防止法	指定物質 水酸化ナトリウム 法令番号 6

16. その他の情報

参考文献、URL	1) Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN 2) Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 19th edit., 2015 UN 3) Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012) 4) 2012 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT) 5) 2016 TLVs and BEIs. (ACGIH) 6) http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php 7) JIS Z 7253 (2012年) 8) JIS Z 7252 (2014年) 9) 2015 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会) 10) Supplier's data/information 11) GESTIS-Stoffdatenbank 12) Pub Chem (OPEN CHEMISTRY DATABASE)
----------	--

改訂履歴

2017年10月1日 作成

2021年3月4日 改定

記載内容の問合せ先

倉敷紡績株式会社 環境メカトロニクス事業部 バイオメディカル部

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。